



特集

市民が主役のまちづくり 『きずな計画』

のぼりべつ 社協 だより

noboribetsu shakyo

鷺別小学校区きずな推進委員会が運営する「しゃべっ茶お」の様子です。
しゃべっ茶おは、校区内の高齢者等を対象にした活動で
介護予防体操や地域包括支援センターによる講話や工作などのレクリエーションを行っています。
毎月第2土曜日の10:00～ 鷺別コミュニティセンターで開催しています。

CONTENTS

- P2 特集 市民が主役のまちづくり『きずな計画』
- P4 赤い羽根共同募金運動が10月から始まります
歳末たすけあい募金運動が12月から始まります
- P6 のぼりべつ・若者ミライ応援事業
生活福祉資金貸付事業のご案内
- P7 ふれあいフェスティバルを開催しました
チャリティー市民演芸会を開催します
災害ボランティアのポイント
- P8 デイサービスセンターの職員を募集しています
社協寄付金・寄付物品

 2026
10.01 No.173

【発行】 社会福祉法人 登別市社会福祉協議会
【事務局】 登別市片倉町6丁目9番地1 登別市総合福祉センターしんた21内
【TEL】 0143-88-0860
【FAX】 0143-88-4546
【mail】 info@kizuna-shakyo.jp
【HP】 <https://kizuna-shakyo.jp>
【Facebook】 <https://www.facebook.com/kizunashakyo/>



この社協だよりの発行は、赤い羽根共同募金の支援を受けています

特集

市民が主役のまちづくり『きずな計画』

登別市社会福祉協議会（以下、登別市社協）では現在、第5期登別市地域福祉実践計画（愛称…きずな計画）の策定を進めています。

『きずな計画』は、このまちでどのように暮らし、支え合い、次の世代へどのような地域を引き継いでいくのか——市民一人ひとりが自らの「暮らし方」を考え、実践につなげていくための計画です。きずな計画がスタートしてから20年にわたり、「誰もが地域を支える存在であり、同時に支えられる存在でもある」という理念のもと、地域の中での対話を積み重ねてきました。

今回の特集では、きずな計画を通して描いてきた市民の暮らし方や第5期きずな計画策定の進捗状況をお知らせします。



■20年以上にわたって大事にしてきた

「誰もが主役」

「地域福祉の計画」と聞くと、「行政や専門職がつくる難しそうなお冊子」を思い浮かべる方が多いかもしれません。

しかし、「きずな計画」は、制度や事業のことだけをまとめるものではありません。「このまちでどう暮らし、どんな地域を次の世代に引き継いでいくのか」という、私たちが自らの手で『これからの暮らし方』を考え、カタチにしていきたいための計画です。地域福祉は、特別なことをするわけではありません。

- ・ご近所で交わす「おはよう」のあいさつ
- ・登下校の子どもたちをそっと見守る目
- ・お祭りや地域の行事に顔を出してみる

こうした日常の関わりが信頼を育て、いざという時に助け合える「安心」をつくります。支える人・支えられる人を分けるのではなく、「みんなが支え合い、誰もが地域の主役になる」。登別市民はこの考え方を20年以上大切に育んできました。



■今年重ねてきた対話の場

【5月】第5期きずな計画策定キックオフ講演会

5月8日、日本福祉大学社会福祉学部教授の野尻紀恵氏をお迎えし、「共に生きるこれからのふくし」をテーマに講演いただき、その講演を受けて、自分たちができることを考えるグループワークを行いました。



【6月】第1回きずな推進委員会

過去20年間のきずな活動のふりかえりと、第5期計画に向けたスケジュールの確認を行い、最後には、校区に分けず様々な地域に住む委員でグループワークを行い、これからの登別について前向きな話し合いを行いました。



【7月】第1回きずなリーダー会議

各校区きずな推進委員会ときずな推進委員会専門委員の代表が集まり、第5期きずな計画とこれからの登別について熱い議論を交わしました。

〈ポイント〉

1. 暮らしの圏域（校区）はそのまま

きずな計画では8小学校区を圏域としてさまざまな活動を行っています。小学校の統合が進んでいますが、学校は無くなっても、皆さんの生活の範囲は変わらないことから今後も8圏域を基準に進めていきます。

2. 会議は「話し合いと交流の場」へ

今まで市全体の取り組みをまとめた全市計画に基づいて8小学校区ごとの校区計画を策定し、それぞれ目標を定めて活動し、1年ごとに評価を行ってきました。これからは、人口減少等を背景として、校区ごとの計画と評価を全市計画に一本化することで、校区委員会の在り方を活動の相談や、つながりづくりをできる場所へと変えていきます。

3. 皆さんの声をきくアンケート

8月に地域福祉の活動をする人や福祉施設、障がい者に関する団体へアンケートを行うこととし、その内容について話しました。



■ アンケートでわかったこと

現在、町内会やボランティアなどの地域活動実践者を対象に実施したアンケートの集計・分析を進めています。登別全体の声を集めて見えてきたのは、これからの地域福祉を支える大切な「本音」でした。

「地域のつながりが弱くなった（54.7%）」と感じている人が半数を超えています。これは身近な関係性を改めて大切にしたいと考えている人が多いことの表れでもあります。

また、過去1年間に地域の中で「話し相手（42.1%）」や「相談相手（41.0%）」になった人がそれぞれ約4割に達していることも分かりました。雪かきや手伝い以上に、日常の「話を聞く」「声をかける」という関係性そのものが、すでに地域の貴重な支え合いになっています。

【アンケートで見た市民の本音】

これからも続けたい暮らし方

「自分ができることを無理なく続ける」 66.7%
「あいさつや声をかけを大切に」 64.3%

今求められているのは気軽に参加できる機会と一緒に活動できる仲間づくりです。若い世代とも「短時間」や「体験」を通じてゆるやかにつながっていく姿勢が大切にされています。



△アーニスを会場に実施している「地域拠点丸ごと支え合い事業」の様子です。子育て中の方やベテランボランティアさんたちが、自分ができる形で関わっています。

■ 第5期きずな計画完成に向けて

アンケートで見えてきたのは、「一部の人が頑張る福祉」から「誰もが自分ができる範囲で関わる福祉」へ転換したいという願いでした。この想いをカタチにし、市民みんなで作る計画を完成させるため、次のプロセスを進めていきます。

【STEP1】

アンケートで「全市の本音」を可視化

寄せられた456件（8月31日現在）の声を集計・分析し、市民が描く暮らし方を見える化します。

【STEP2】

「住民座談会」で地域の未来を語り合う

全市のデータやお住まいの校区ごとの詳しい傾向をきっかけに、地域住民同士でこれからの暮らしを語り合う座談会を順次開催します。「私の地域はどうか？」「これならできるかも」と、ご近所同士で気楽に言葉を交わす場です。

【STEP3】

みんなの声をとりまとめた「第5期きずな計画」の完成へ

座談会で集まった住民同士の対話やアイデアを反映し、誰もが主役になれる新しい計画を今年度内に完成させます。

座談会の日程や会場につきましては、登別市社協ホームページやSNS、町内会・民生委員児童委員協議会等の団体へお知らせします。たくさんのご参加お待ちしております。

ピンバッジ
コンテスト
受賞作品



最優秀賞
能戸果純さん



優秀賞
江口悠鞠さん



共募会長賞
佐藤優衣さん



社協会長賞
大淵智花さん



アイディア賞
高橋 有さん

③助成する

計画した使い道をもとに助成されます。
また、災害時に被災地を支援するための
準備金としても積立てられます。



④役立てる

助成された募金は、より良い
まちにするために活用されます。



赤い羽根共同募金

10月1日から12月31日
目標額 690万円

赤い羽根
共同募金の
使い道

会食等を通じたつながりづくり



ふれあい交流会

「いじめ反対」の意思表示



ピンクシャツデー

高齢者への買い物支援



ふれあい買物事業

社内外や店舗前等に「赤い羽根自動販売機」を設置し、社員やお客様
が飲料を購入することで売り上げの一部が寄付されるしくみです。
設置場所のご提供や月々の電気代はご負担いただきますが、自動販売
機の設置はすべて無料で、管理や商品の補充等の対応はすべて販売業者
が行います。

赤い羽根自動販売機設置で応援！

- ・チャリティービール祭り
(登別中央飲食店組合様・登別中央商店会様)
- ・登別地獄まつり (登別更生保護女性会様)
- ・登別ガス協同組合感謝祭 (登別ガス協同組合様)

ご協力いただきました
団体の皆さま

7月より市内のお祭り等にてイベント募金を行いました。
当日はご来場いただいた大変多くの皆さま
から暖かいご支援を頂戴し、誠にありがとうございました。
市内のイベントにて募金箱設置等のご協力をいた
だける企業や団体等の皆さま、登別市共同募金委員
会へのご連絡をお待ちしています。

イベント募金のご協力
ありがとうございます！

10月から赤い羽根共同募金運動
がスタートし、市内各店舗前等で
街頭募金のご協力を呼びかけます。
街頭に立つボランティアの呼び
かけを見かけた際には、ぜひ温か
いご支援、ご協力をお願いいたし
ます。

街頭募金がはじまります！



赤い羽根共同募金

皆さまから寄せられた募金は「困っている人を支え、支える人も支える」ために活用されます

共同募金の流れ

①計画する

募金の使い道の計画を立てます。



②募金する

町内会や企業、街頭などで集まった募金を登別市共同募金委員会で集約します。



歳末たすけあい募金

12月1日から12月31日

目標額 **530万円**

歳末たすけあい募金の使い道

住民同士の見守り支え合い活動



小地域ネットワーク事業

みんなとつながる居場所を作る



ふれあい・いきいきサロン

ボランティア団体の活動を支援する



きずなのまちづくり助成

取扱い場所

- ・登別中央ショッピングセンターアーニス（中央町）
- ・登別パークサービスセンター売店（登別温泉町）
- ・登別伊達時代村（中登別町）・登別市民会館（富士町）
- ・登別市社会福祉協議会（片倉町）

※施設により営業日、取扱時間が異なるのでご注意ください。
※お届けに伺うことも可能です。気軽に問合せください。

今年のピンバッジとシール



登別ご当地ピンバッジ

1個500円以上の募金で進呈



受賞作品シール集

1枚200円以上の募金で進呈

赤い羽根共同募金限定ご当地ピンバッジが今年も完成しました！
登別市のPRキャラクター「登夢くん」と「登別伊達時代村」とのコラボバッジで、今年も「日本工学院北海道専門学校」の学生さんがデザインしてくれました！
また、コンテスト受賞作品を集めたシール集も完成！
毎年大変好評となっており、数に限りがございますので、お早めにお求めください。



コンテスト授賞式の様子

登別ご当地ピンバッジ・シール集完成！

なお、新規設置だけではなく、すでに設置されている自動販売機を赤い羽根自動販売機に移行することも可能です！
企業の地域貢献やPRへつながる取組みですので、皆さまのご連絡をお待ちしています。



八十周年

ありがとう。これからも一緒に。

のぼりべつ・若者ミライ応援事業

登別市社協では、登別市地域福祉実践計画「きずな」に基づき、子どもから若者への切れ目のない支援と、ご家庭が困ったときにいつでも相談できるつながりづくりを目指し、のぼりべつ・若者ミライ応援事業を実施しています。

公的制度の枠組みだけでは届きにくい費用をサポートするとともに、学校関係者や地域と連携しながら、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めるため、2つの助成事業に取り組んでいます。

■修学旅行お小遣い助成事業

小・中学生期の大切な体験や思い出づくりの機会を等しく満喫できるよう、就学援助世帯を対象に修学旅行のお小遣いの一部を助成することで、子どもたちが経済的な状況を気にせず楽しむとともに、早い段階から社協を知っていただくとともに、ご家庭が孤立しない関係づくりを目指しています。

対象：登別市内の就学援助世帯等の小学6年生、
中学3年生

助成内容：小学6年生 3,000円
中学3年生 5,000円



■ニコキタ修業支援事業

市内の高等教育機関である「日本工学院北海道専門学校」と協働し、公的支援の対象とならない同校入学試験の選考料（受験料）を全額助成し、次のステージへの挑戦を応援します。

対象：同校へ入学決定した登別市内の住民税非課税世帯等

助成内容：ITスペシャリスト科 25,000円
CGデザイナー科 20,000円
その他の学科

「キックオフセレモニー」

事業の開始にあたり、8月20日に「ニコキタ修業支援事業キックオフセレモニー」を開催し、日本工学院北海道専門学校長および本会長より本事業に対する期待などが述べられました。



「お申し込み・お問い合わせ」

各事業の対象要件や申請期間、申込方法は、各学校を通じて配布するチラシや登別市社協ホームページをご覧ください。



生活福祉資金貸付事業のご案内

登別市社協では、北海道社会福祉協議会より委託を受け、他の貸付制度が利用できない世帯に対し、資金の貸付と必要な相談・支援により、経済的自立と生活の安定を図ることを目的として、生活福祉資金貸付事業を行っています。

生活福祉資金には次のようなものがあります。

「総合支援資金」

失業等により、日常生活全般に困難を抱えた世帯の立て直しのための貸付です。

「緊急小口資金」

緊急かつ一時的に世帯の生計維持が困難となった場合の貸付です。

「福祉費」

住宅の改修や障がい者世帯の自動車の購入、療養、引越しの経費等、生活を送る上で一時的に必要な経費のための貸付です。

「教育支援資金」

高校、大学、短大、専門学校の入学金・制服等入学時に必要な経費と、授業料や通学代等、就学に必要な経費の貸付です。

その他、冬の暖房代がかさむ時期には「冬期生活資金」の貸付等もあります。

詳しくは登別市社協地域福祉課生活支援係（0143-83-17379）までご相談ください。



↑
若者ミライ応援事業
生活福祉資金貸付事業の
詳細はこちら

ふれあいフェスティバルを開催しました

7月25日・26日の2日間、「のぼりべつ夏まつり」と合同で「ふれあいフェスティバル2026のぼりべつ」を開催しました。

あいにくの天候となりましたが、会場は終始温かい雰囲気にもまれ、たくさんの方々の笑顔であふれるイベントとなりました。

「体験ブース」

4つのテントを常設し、2日間で延べ8つの体験ブースを設けました。障がい当事者団体や障がい者の暮らしを支える団体、民生委員児童委員協議会、きずな推進委員の皆さんが工夫を凝らした企画を用意し、多くの方に福祉に触れていただく機会となりました。

「露店ブース」

今年度からの新たに、運営委員会によるポップコーン販売を実施しました。地域住民と障がい当事者団体が手を取り合って運営し、その隣では就労支援施設の授産製品販売等も行われました。

なお、ポップコーン販売の益金は運営委員会より社協へご寄付いただきました。今後の地域福祉活動のために大切に活用させていただきます。

ご来場いただいた皆さま、誠にありがとうございました。



チャリティー市民演芸会を開催します

昭和44年、歳末たすけあい運動の一環として、「第1回歳末たすけあい町民演芸大会」として始まった「チャリティー市民演芸会」を今年度も各地区で開催します。

地域のカラオケサークルや詩吟、演芸ボランティア、学生による合唱やダンスなど多くの人たちが会場を盛り上げます。

これらのイベントによる益金は、実行委員会より本会へ贈呈され、市民の皆さまとともに取り組む地域福祉活動のために有効に活用させていただきます。

それぞれの会場にてたくさんの方のご来場お待ちしております。



四地区合同チャリティー市民演芸会

日時：令和8年11月14日(土) 13時30分

会場：鷺別コミュニティセンター

幌別地区チャリティー市民演芸会

日時：令和8年12月5日(土) 13時

会場：登別市市民会館 大ホール

登別地区チャリティー市民演芸会

日時：令和8年12月19日(土) 13時

会場：登別市観光交流センターヌブル

災害ボランティアのポイント

熊本地震や千葉県の大雨災害など、大きな自然災害が立て続けに起きており、全国各地で災害ボランティアセンター(災害VC)が立ち上がっています。「手伝いたいけど、何から始めたら良いのか」と悩んでいる人も多いのではないのでしょうか。ここでは、災害ボランティアの手続きやポイントをご紹介します。

1. 情報収集と現地への配慮

・「事前確認」が鉄則

事前連絡のない現地への直接訪問は避け、必ず被災地の災害VCの発信情報(募集対象地域や受付方法)を確認しましょう。

・被災者の気持ちに寄り添う

被災された方のプライバシーに配慮し、許可のない写真撮影やSNS投稿は控えましょう。

2. 十分な準備と自己完結

・「自分のことは自分で」が基本

食料・飲み物・宿泊先などはあらかじめ自分で手配し、被災地に負担をかけない「自己完結型」の準備で参加します。

・安全な服装と装備

安全靴(インソール入り)、長袖・長ズボン、作業用手袋、マスク、ヘルメットなど、ケガを防ぐ装備を整えましょう。

3. ボランティア活動保険への加入

・地元の社協で事前加入を

活動中のケガや損害賠償に備え、出発前にお住まいの地域の社会福祉協議会窓口で「ボランティア活動保険(天災補償プラン)」に加入しておきましょう。

デイサービスセンターの職員を募集しています

登別市社会福祉協議会デイサービスセンターでは、職員を募集しています。

〇ケアワーカー（パート）2名

・内容…在宅生活継続のための自立支援に伴う入浴や食事介助等

・時間…ア）8時15分～13時15分
イ）13時～18時

・シフト制

・資格…①介護福祉士

②実務者研修修了

・時給…①1,290円～1,330円
②1,201円～1,236円

右記のほか、処遇改善手当月額300円

・勤務…週4日以内 勤務日数相談可

・年齢…60歳まで

・待遇…交通費、雇用保険、労災保険、駐車場

無料、制服貸与

介護福祉士資格受験助成制度あり

・休日…土・日曜日、

年末年始（12月29日～1月3日）

見学も可能です。まずは左記までお電話ください。

お問い合わせ…登別市社会福祉協議会 総務課

TEL 0143-88-0860



寄付者のご紹介（2026年4月1日～2026年8月31日）

（敬称略／単位：円）

受領年月日	寄付者名	寄付金額	寄付目的
2026.04.09	わしこうD愛好会	10,000	第44回わしこうダンスパーティーの益金の一部を社会福祉のために
2026.04.23	司法書士法人エトランジェ	50,000	ふれあいフェスティバル事業のために
2026.04.23	嶋津歯科医院	50,000	ふれあいフェスティバル事業のために
2026.05.18	高橋 順一	10,000	社会福祉のために
2026.05.18	匿名	25,000	社会福祉のために
2026.06.18	匿名	3,060	会議での費用弁償を社会福祉のために
2026.07.03	齊藤 ミエ	3,488	社会福祉のために
2026.07.09	クリーンビル開発株式会社	450,000	創立45周年を記念して社会福祉のために
2026.07.09	登別中央飲食店組合	50,000	「チャリティゴルフ大会」での益金を社会福祉のために
2026.07.27	ふれあいフェスティバル運営委員会	103,570	ポップコーンの売上を社会福祉のために
2026.08.03	幌別地区ビールパーティー実行委員会	314,513	第38回幌別地区ビールパーティー益金
2026.08.04	四地区合同ビールパーティー実行委員会	175,606	第36回四地区合同ビールパーティー益金
2026.08.20	わしこうD愛好会	10,000	第45回わしこうダンスパーティーの益金の一部を社会福祉のために
2026.08.21	匿名	25,000	社会福祉のために

愛の小箱等設置協力者のご紹介（2026年4月1日～2026年8月31日）

（敬称略／単位：円）

設置協力者名	期間内寄付金額	累計寄付金額	種 別
第一滝本館	10,149	691,127	愛の小箱
洋食のいし川	10,815	33,915	愛の小箱
幌別地区ビールパーティー実行委員会	1,034	82,505	愛の小箱
北海道競馬登別室蘭場外発売所 Aiba登別室蘭	18,692	222,225	愛の小箱
ふれあいフェスティバル運営委員会	4,291	2,958,305	愛の小箱
パーラーロイヤル登別店	8,879	37,618	愛の小箱
登別中央ショッピングセンター アーニス	12,300	434,398	愛の小箱
ふれあいの店	6,245	730,515	愛の小箱

寄付物品のご紹介（2026年4月1日～2026年8月31日）

（敬称略）

受領年月日	寄付者名	寄付物品名
2026.04.23	イオン北海道（株）マックスバリュ登別店	黄色いレシートキャンペーンイオン専用ギフトカード